

令和3年 7月 定例教育委員会

日時 令和3年7月27日(火)13:30～
場所 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

次 第

○ 行事報告及び行事予定について [教育総務課]

【説明・協議事項】

(1) 令和4年度使用中学校教科書の採択について [学校教育課] P. 1

【報告事項】

(1) 令和3年第4回市議会臨時会の報告について [各課] P. 3
・令和3年度鳥取市一般会計補正予算(7月補正)

(2) 令和3年7月大雨による被害状況について [各課] P. 5

(3) 新型コロナウイルス感染症の対応について [学校教育課] P. 7

(4) さじアストロパークで発見した小惑星の命名について [生涯学習・スポーツ課] P. 8

(5) 鳥取砂丘西側エリアでの滞在型観光施設の整備に関するサウンディング型市場調査結果の
公表について [生涯学習・スポーツ課] P. 10

【質疑・意見交換】

(1) 鳥取市小・中・義務教育学校における防災教育の状況について [学校教育課] P. 17

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[8月] 令和3年8月30日(月) 13:30～鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

[9月] 令和3年9月28日(火) 13:30～鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

① 行事報告（6月30日～7月27日）

6月	30	(水)		
7月	1	(木)	特別支援教育主任研修①（全）（延期）	
			さじアストロパーク期間展示「もっと知りたい宇宙のあんな事こんな事」（～9月20日）	さじアストロパーク
			プラネタリウム夏番組「ナナとハチ」開始（～9月20日）	さじアストロパーク
	2	(金)		
	3	(土)	やまびこ館おもてなしイベント（～4日）	鳥取市歴史博物館
			プロの似顔絵作家による作画風景大公開	中央図書館
	4	(日)	親子で楽しむ星の講座	さじアストロパーク
			おうちだにワークショップ	鳥取市歴史博物館
			因幡のしゃんしゃん傘踊り、すずっこ踊り	仁風閣
	5	(月)		
	6	(火)	校長研修②	Web会議による遠隔研修
	7	(水)	宇宙ふしぎ探検「七夕の星を見よう」（天の川映像生配信）	さじアストロパーク
	8	(木)		
	9	(金)	特別支援教育支援員研修	Web会議による遠隔研修
	10	(土)	和紙の可能性～諸吉陽子発！因習和紙を使った作品～（～8/22）	鳥取市あおや郷土館
	11	(日)	親子で楽しむ星の講座	さじアストロパーク
			歴史ツアー「樗谿を歩く」	鳥取市歴史博物館
	12	(月)	ワークショップ②（特別支援教育）	オンデマンドによる動画配信
	13	(火)	教職員人権教育研修	オンデマンドによる動画配信
			青谷町高齢者教室（中止）	青谷町総合支所
	14	(水)		
	15	(木)	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会	オンライン開催
	16	(金)		
	17	(土)	第28回八上姫杯テニス選手権大会	用瀬町運動公園テニスコート
			まが玉づくり（～8/15）	鳥取市万葉歴史館
			まんれき！クイズラリー（～8/15）	鳥取市万葉歴史館
			ジェルキャンドルで青谷の海を作ろう！（～7/18）	あおや郷土館
18	(日)	おうちだにアカデミー	鳥取市歴史博物館	
		因幡・但馬の麒麟獅子舞	仁風閣	
19	(月)	図書館の司書体験コーナー	用瀬図書館	
20	(火)	佐治谷ばなしを楽しむ会	河原町コミュニティセンター	
21	(水)	民俗行事『釜焼き』	河原歴史民俗資料館	
		常設展示講座	鳥取市歴史博物館	
22	(木)	夏イベント「夏の星空散歩～見上げてみよう宙（そら）の星を」（～8月22日）	さじアストロパーク	
23	(金)	図書館探検	中央図書館	
24	(土)	令和3年度共催展「とっとりのお宝おひろめ」～鳥取県指定文化財展～（～8/29）	鳥取市歴史博物館	
		夏休み青谷3館クイズラリー（～8/22）	あおや郷土館・青谷上寺地遺跡展示館・あおや和紙工房	
25	(日)			
26	(月)	初任者研修（校外）③・新規採用養護教諭研修②・新規採用学校栄養職員研修（一般研修）	集合研修	
		講師研修①	Web会議による遠隔研修	
27	(火)	7月定例教育委員会	本庁舎6階第4会議室	
		中堅教諭等資質向上研修③、6年目研修②	Web会議による遠隔研修	

② 行事予定（7月28日～8月30日）

7月	28	(水)		
	29	(木)	子ども草木染め工房	鳥取市万葉歴史館
	30	(金)	全教職員研修	Web会議による遠隔研修
	31	(土)	マリオネット麒麟獅子舞を見て、紙玩具『ずぼんぼ』を作ってみよう！！	仁風閣
8月	1	(日)	因州和紙を使ってランプシェードを作ろう！	あおや郷土館
	2	(月)	特別支援教育主任研修②（全）、幼保小中連携研修、特別支援学級担任研修②（全）	Web会議による遠隔研修
	3	(火)	青谷町高齢者教室	青谷町総合支所
	4	(水)	第50回姫路市・鳥取市中学生オンライン交歓会	Web会議による遠隔交流
	5	(木)	第1回鳥取市不登校対策専門委員会	総合教育センター
			夏休み工作イベント 貝殻でウィンドチャイムを作ろう！（～6日）	あおや郷土館
			びっくりサイエンスショー	用瀬図書館
	6	(金)		
	7	(土)	子どもと本をつなげる講座「なまえ絵本を作ってみよう」	気高図書館
	8	(日)	親子で楽しむ星の講座	さじアストロパーク
			因州和紙を使ってアクセサリを作ろう！	あおや郷土館
	9	(月)		
	10	(火)		
	11	(水)	貝殻でフォトフレームを作ろう！（～12日）	あおや郷土館
			夏休み一日図書館員	中央図書館
	12	(木)	宇宙ふしぎ探検「ペルセウス座流星群を見よう」21:30～23:00	さじアストロパーク
	13	(金)	宇宙ふしぎ探検「ペルセウス座流星群を見よう」21:30～23:00	さじアストロパーク
	14	(土)		
	15	(日)		
	16	(月)		
	17	(火)	京都産業大学インターンシップ（～8/22） 講師：さじアストロパーク職員	さじアストロパーク
	18	(水)		
	19	(木)	第1回鳥取市いじめ防止対策推進委員会	総合教育センター
	20	(金)		
	21	(土)	因幡の傘踊りの祭典	鳥取市因幡万葉歴史館
			歴史講座「古文書に親しむ（仮称）」	鳥取市因幡万葉歴史館
	22	(日)	おうちだにワークショップ 和本づくり	鳥取市歴史博物館
			清州市との姉妹都市提携30周年記念事業	中央図書館
	23	(月)		
	24	(火)		
25	(水)			
26	(木)			
27	(金)	中堅教諭等資質向上研修④、6年目研修③	Web会議による遠隔研修	
28	(土)	鳥取県・星のソムリエ講座（～8/29） 講師：さじアストロパーク職員	さじアストロパーク	
29	(日)			
30	(月)	8月定例教育委員会	本庁舎6階第4会議室	

7月定例教育委員会 資料	
令和3年7月27日（火）	
担当課	学校教育課

令和4年度使用中学校教科書の採択について

令和3年度において、自由社の「新しい歴史教科書」について、教科用図書検定規定に基づき、検定審査不合格の決定の通知に係る年度の翌年度に行われた再申請により、令和2年度に文部科学大臣の検定を経て新たに発行されることとなったことから、無償措置法施行規則第6条第3号により採択替えを行うことも可能となりました。

それを受け、令和3年7月13日に東部地区教育長会議を開催し、東部地区教科用図書採択協議会の実施について協議しました。

1 鳥取県教育委員会小中学校課との確認内容

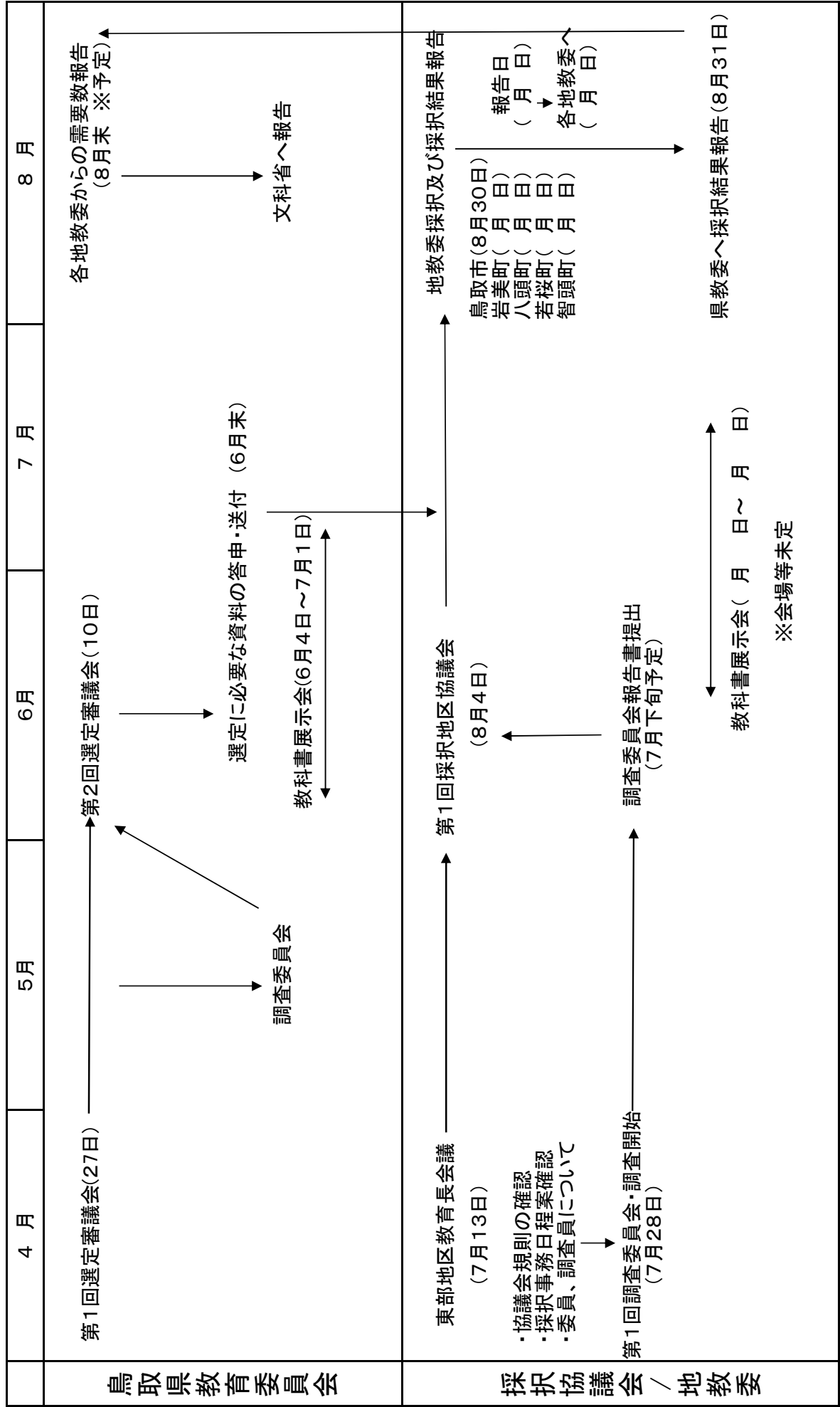
- 自由社の中学校歴史教科書について、採択替えが可能である。
- 採択替えを行うか否かは、採択権者である市町村教育委員会の判断である。
- 鳥取県教育委員会は、自由社の中学校歴史教科書について調査研究を行い、選定資料を市町村教育委員会及び各地区採択協議会に送付する。
- 市町村教育委員会は、採択結果を8月末までに鳥取県教育委員会に報告すること。

2 東部地区教科用図書採択協議会等の今後の日程について

※ 別添資料① 参照

令和3年度 東部地区教科用図書採択協議会採択事務スケジュール

東部地区教科用図書採択協議会



報告事項(1)

令和3年度鳥取市一般会計補正予算(7月補正)について

7月定例教育委員会 資料
年月日 令和3年7月27日
担当課 各課

単位:千円

No	事業名	所属名	補正前額	補正額	補正後額	左記の財源内訳			事業概要	
						国・県	地方債	その他		一般財源
1	新型コロナウイルスワクチン職域接種事業費(教職員等分)	学校教育課	0	736	736	0	0	736	0	学校、放課後児童クラブ、給食センターに勤務する教職員、支援員等を対象とした新型コロナウイルスワクチン職域接種を実施するための経費(全3,000人のうち市外に住民票のある者162人分) ※その他財源はワクチン接種費用国保連負担金
2	一般管理費(学校給食センター)	学校保健給食課	83,578	1,271	84,849	0	0	0	1,271	部品の破損や摩耗が原因で洗浄に支障をきたしている第一学校給食センターの食器洗浄機を緊急修繕するための経費。
3	地区区体育館管理費	生涯学習・スポーツ課	37,267	543	37,810	0	0	271	272	令和3年6月13日の落雷により故障した美保南体育館の火災受信機を緊急修繕するための経費。 ※その他財源は、建物等損害共済金
計			120,845	2,550	123,395	0	0	1,007	1,543	

報告事項（1）資料

新型コロナウイルスワクチン職域接種事業費（教職員等分）

7月定例教育委員会 資料	
年月日	令和3年7月27日
担当課	学校教育課

【歳入】

	税込単価	接種人数	歳入額	備考
接種1回目	2,277	162	368,000	市外に住民票のある者の分
接種2回目	2,277	162	368,000	市外に住民票のある者の分
計		324	736,000	

<参考>

	接種予定数(人)	市内に住民票あ る者(人)	市外に住民票の ある者(人)
接種1回目	3,000	2,838	162
接種2回目	3,000	2,838	162
計	6,000	5,676	324

【歳出】

	税込単価	延べ人数	事業費
医師	32,000	20	640,000
接種看護師	16,000	4	64,000
看護師	8,000	4	32,000
計			736,000

★新型コロナウイルスワクチン職域接種事業(教職員等分)に係る事業費

【全体】

(千円)

総事業費	内訳	
	報酬	その他経費
23,870	13,632	10,238
	736	23,134
	7月臨時補正	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費 (鳥取市保健所所管)に計上済み



7月定例会教育委員会	
年月日	令和3年7月27日(火)
担当課	各課

令和3年7月大雨における被害状況について

7月7日から9日にかけて、梅雨前線の活発な活動の影響で、市内全域に多くの被害をもたらした大雨について、教育委員会が所管する施設等の被害状況を報告します。

No.	施設	場所	被害内容	対応状況	担当課
1	湖南学園	六反田	浸水(校舎内)	学校職員が土嚢を設置して対応。 水が引いた後、学校職員が清掃するなど復旧。	教育総務課
2	佐治小学校	佐治町福園	敷地内冠水、プール更衣室浸水	水が引いた後、学校職員が清掃するなど復旧。	教育総務課
3	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平	鳥取市東町	西坂下御門脇の近代の石垣が高さ2m幅5mにわたって破損した。また、楯蔵の足元の覆土が1m×4mにわたって流失したほか、西坂下御門周辺の路面が洗掘された。 天球丸跡の排水用に設置した約80cm径の塩化ビニール管にゴミがつまり、水圧で破損。水が流出した。	石垣崩落部は危険がないようロープで結界し立ち入り禁止とした。路面の洗掘は今後対応を検討。天球丸の塩化ビニール管はゴミを除去して応急措置済、今年度内に修復。	文化財課
4	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平	鳥取市東町	排水溝の目詰まりなどにより雨水がオーバーフローし、鳥取西高校体育館が床下浸水するなどした。	鳥取城内の排水路と学校内の排水溝の清掃により排水機能を維持。史跡内では7日～8日にかけて八幡宮跡の分岐をパトロール・清掃	文化財課
5	因幡万葉歴史館	国府町町屋	雨漏りにより展示室内に浸水。	展示物保護のために展示を一時撤収。7月8日・9日を休館とした。修繕の必要性が判明した箇所については今後対応を検討	文化財課
6	国府町コミュニティセンター	国府町庁	1階廊下天井の一部が落下(人的被害等なし)	天井材を回収。修繕方法等について検討中。	生涯学習・スポーツ課
7	鳥取市B&G海洋センター	三津	艇庫船出し場の人工芝の剥がれた。(人的被害等なし)	修繕方法等について検討中。	生涯学習・スポーツ課
8	気高町農業者トレーニングセンター	気高町浜村	屋根部の軒天が剥離し落下。(人的被害等なし)	付近へバリケードを設置。修繕方法等について検討中。	生涯学習・スポーツ課
9	稲葉山体育館	卯垣5丁目	屋根部の軒天が剥離し落下。(人的被害等なし)	天井材を回収。修繕方法等について検討中。	生涯学習・スポーツ課
10	気高町運動広場	気高町浜村	雨によりピッチャーマウンドが洗われ損壊。	真砂土を搬入し応急修繕を実施。修繕方法等について検討中。	生涯学習・スポーツ課

No.3資料

担当部課	文化財課	
施設	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平	
場所	鳥取市東町	
被害内容	西坂下御門脇の近代の石垣が高さ2m幅5mにわたって破損した。また、楯蔵の足元の覆土が1m×4mにわたって流失したほか、西坂下御門周辺の路面が洗掘された。	
対応状況	石垣崩落部は危険がないようロープで結界し立ち入り禁止とした。路面の洗掘は今後対応を検討。天球丸の塩ビニール管はゴミを除去して応急措置済、今年度内に修復。	
		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>上 楯蔵跡</p> <p>右 西坂下御門脇</p> </div>	

7月定例教育委員会 資料	
令和3年7月27日(火)	
担当課	学校教育課

新型コロナウイルス感染症の対応について

7月3日(土)、鳥取市立東中学校の生徒1名が新型コロナウイルス感染症に感染したことが確認されました。対応については以下のとおりです。

(1) 学校の臨時休業等について

- ・7月4日(日)～7月8日(木)までひとまず臨時休業
- ・PCR検査を受けた生徒及び教職員全員が陰性だったことを受け、保健所と相談の上、7月4日(日)～7月5日(月)臨時休業、7月6日(火)から学校再開

(2) PCR検査の結果について

- ・検査対象者 教職員11名、生徒153名 ⇒ 陰性

(3) 学校内の消毒について

- ・7月3日(土)実施

7/3(土)	鳥取市立東中学校の生徒1名が感染 学校内の消毒作業
7/4(日)	7/4(日)～7/8(木)臨時休業を決定 教職員(11名)、生徒(153名)PCR検査実施の実施⇒陰性 臨時休業、PCR検査の実施、教育長メッセージを保護者に配信 報道等へ資料提供 ※学校名公表
7/5(月)	臨時休業期間7/4(日)～7/5(月)、学校再開7/6(火)に変更 報道等へ資料提供 ※臨時休業期間の変更
7/6(火)	学校再開

報告事項（４）

さじアストロパークで発見した小惑星の命名について

7月定例教育委員会資料	
令和3年7月27日	
担当課 (担当)	さじアストロパーク (宮本 敦)
電 話	0858-89-1011 (内線 85-600)

さじアストロパークで発見した小惑星が「Hoshitori(星取)」と命名されました

さじアストロパークで発見した小惑星 90875 (1996 VE1) について、平成 29 年 10 月に命名提案を行っていましたが、令和 3 年 7 月 4 日付の国際天文学連合(本部：パリ)小天体命名速報によって、「Hoshitori(星取)」と命名されたことが公表されました。

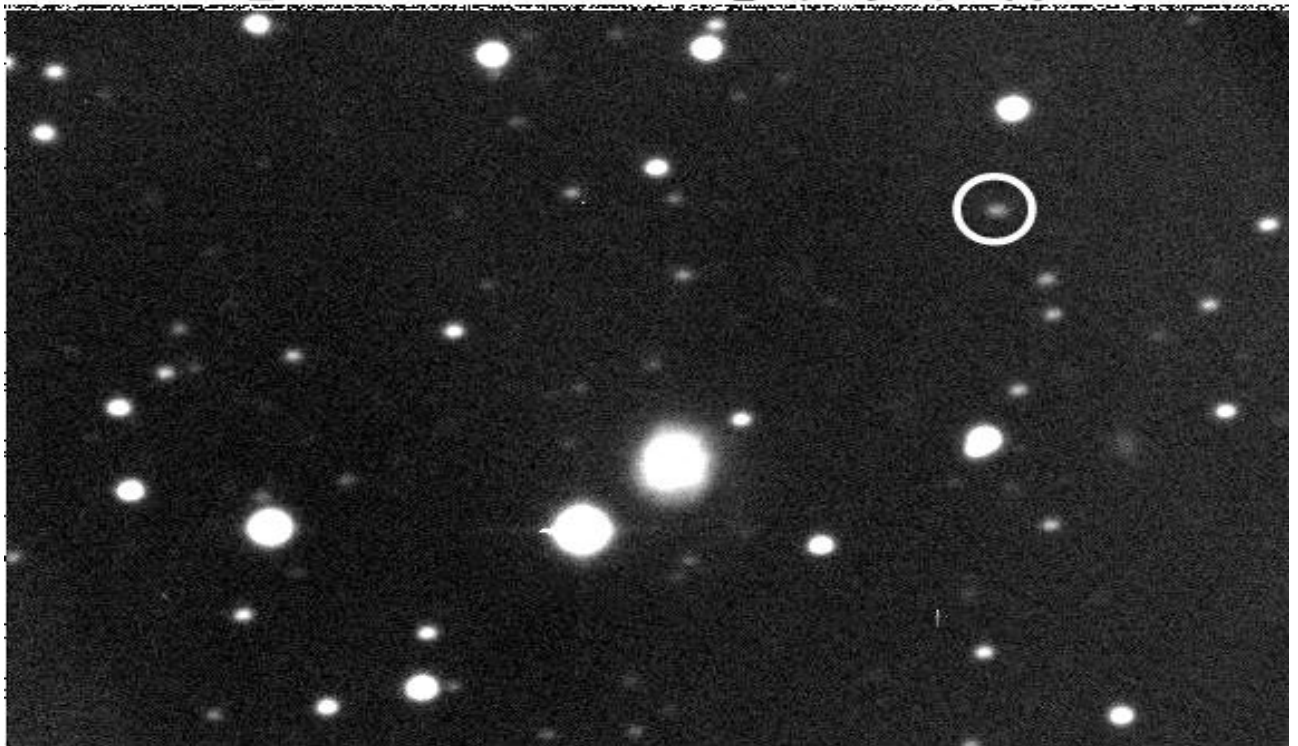
さじアストロパークでは、これまで 22 個の小惑星を発見しており、今回の命名で 17 個目となります。さじアストロパークでは、これまで命名した主な小惑星は、Saji (佐治)、Taniguchijiro (谷口ジロー)、Daisakyu (大砂丘)、Furusato (ふるさと) などがあります。

今回の命名決定によって、本市で美しい星空が見られることが広く知れ渡り、星空を見上げるきっかけとなってもらえればと期待しています。

小惑星「Hoshitori(星取)」のこれまでの経緯等

- 1) 登録番号：90875 (仮符号：1996 VE1)
- 2) 発見日：平成 8 年 11 月 3 日(世界時。日本標準時では 11 月 4 日)
おうし座の方向、明るさ：およそ 18 等級
平成 16 年 10 月番号登録
平成 29 年 10 月命名提案
令和 3 年 7 月命名承認(公表)
- 3) 公転周期：およそ 4 年 1 ヶ月
(火星と木星の間にあり、太陽のまわりをまわっています)
- 4) 推定直径：およそ 3～7 km 程度
- 5) 現在の場所：ふたご座の方向 (令和 3 年 7 月現在)
地球から見て太陽の向こう側となるため、観察はできません。
- 6) 次回の観察好期：令和 4 年 2 月頃 (しし座の方向で 18 等級)
これは、目で見える明るさ(6 等級)のおよそ 6 万 4 千分の 1 の明るさです。
さじアストロパークにある 103cm 大型望遠鏡でも見ることはできませんが、テレビ観望システムの天体専用のデジタルカメラで撮影した
小惑星の画像を、モニターにより観察していただくことができます。

小惑星「Hoshitori」発見画像と観測経過



撮影：鳥取市さじアストロパーク

1996（平成8）年11月4日 午前1時3分15秒～1時7分19秒（露出244秒）
103cm 大型望遠鏡に天体専用カメラを取り付けて撮影

小惑星「Hoshitori（星取）」の今後の広報予定

1 周知について 令和3年7月17日(土)から順次実施

- 1) 機関紙、公式HP、ブログ、館内展示パネルで紹介、プラネタリウムでスライド上映
- 2) 市民向け出前観察会での星空解説において命名承認について説明(7月27日(火)から)
- 3) 公式 Youtube で映像配信 令和4年(2022年)2月下旬ごろ

2 電視観望システムを活用した観察会 令和4年(2022年)3月下旬ごろ

小惑星「Hoshitori（星取）」は、令和4年(2022年)2月頃（しし座の方向で18等級）から観察好期となります。ただし、明るさは18等級で大変暗く、目で見える明るさ(6等級)のおよそ6万4千分の1の明るさです。さじアストロパークにある103cm大型望遠鏡でも見ることはできませんが、電視観望システムの天体専用のデジタルカメラで撮影した小惑星の画像を、モニターにより観察していただくことができます。

（「電視観望システム」は、デジタルカメラで撮影した天体の姿をモニターで鑑賞できるシステムです。さじアストロパークでは、令和2年度に導入し令和3年度から本格運用しています）



7月定例教育委員会資料	
年月日	令和3年7月27日
担当課	生涯学習・スポーツ課

鳥取砂丘西側エリアでの滞在型観光施設の整備に関するサウンディング型市場調査結果の公表について

日本有数の観光地「鳥取砂丘」の西側エリアでは、昭和50年代に整備された公共施設が更新時期を迎えています。本市では、これらの施設を活用し滞在環境を上質化するよう検討していますが、この検討を行政内部のみで決定するのではなく、民間事業者の皆様との対話のなかでアイデアやサービスの市場性を把握し、整備事業者を公募する際には、民間事業者の皆様が参入しやすい公募条件となるよう、サウンディング型市場調査が実施されました。

対象施設	サイクリングターミナル、柳茶屋キャンプ場、こどもの国キャンプ場
実施期間	令和3年5月18日～令和3年5月28日 ※対話実施期間
参加団体数	11団体（県内5、県外6）
調査項目	(1) 対象施設の利活用の可能性 (2) 施設整備・運営手法（事業スキームや事業範囲）、運営期間など (3) 利活用の可能性を高めるための重要な視点や課題、資金計画など (4) 周辺施設等との連携の可能性（リゾートホテル、ビジターセンター西側施設（仮称）・休憩舎、砂丘東側施設等） (5) 子どもたちの宿泊・自然体験活動や地域学習などの場としての可能性 (6) 滞在型観光施設としての新たな可能性 (7) 自然環境への配慮、地域貢献の考え方 (8) 行政支援等の要望
活用案	<p>【主な活用案】 キャンプ・グランピング、青少年の宿泊、砂丘に関する学習、アウトドアアクティビティの拠点、サイクリングの拠点 など</p> <p>【特長的なもの】 星空観察（宇宙体験）、自然環境保護（SDGs）活動、こどもの国等周辺施設との連携 など</p>
検討事項	<p>【施設整備関係】 (1) サイクリングターミナルの扱い (2) 両キャンプ場の一体利用を図るための整備 (3) ビジターセンター西側施設（仮称）・休憩舎へのアクセス改善 (4) 境界整備、こどもの国キャンプ場への進入路整備 など</p> <p>【ソフト事業関係】 (1) 民営化後の学校利用の扱い (2) 柳茶屋キャンプ場の無料キャンプ場としての扱い など</p>
公募方針	上記の活用案及び検討事項を踏まえ、今後、公募方針を策定
スケジュール	令和3年度中 公募型プロポーザルの実施（予定） 令和4年度中 事業着手（予定）
公表方法	概要を本市公式ホームページに掲載

鳥取砂丘西側エリアでの滞在型観光施設の整備に関するサウンディング型市場調査結果の公表について

日本有数の観光地「鳥取砂丘」の西側エリアでは、昭和50年代に整備された公共施設が更新時期を迎えています。鳥取市では、これらの施設を活用し滞在環境を上質化するよう検討していますが、この検討を行政内部のみで決定するのではなく、民間事業者の皆様との対話のなかでアイデアやサービスの市場性を把握し、整備事業者を公募する際には、民間事業者の皆様が参入しやすい公募条件となるようサウンディング型市場調査を実施しました。

この度、その概要を取りまとめましたので公表します。

令和3年7月6日

鳥取市観光・ジオパーク推進課

1 実施概要

項目	内容
実施要領の公表	令和3年3月19日
現地説明会の実施	令和3年4月15日～令和3年4月16日
エントリーの受付	令和3年4月15日～令和3年4月30日
対話の実施	令和3年5月18日～令和3年5月28日
対話の実施場所	鳥取市役所本庁舎会議室
対話の参加団体数	11団体(県内5、県外6)
対話の実施方法	対面またはオンライン
対話の実施時間	1団体当たり90分
実施者側参加者	鳥取市経済観光部長(実施者側代表)、鳥取県子育て王国課(こどもの国キャンプ場担当)、鳥取市生涯学習・スポーツ課(サイクリングターミナル担当)、鳥取市観光・ジオパーク推進課(柳茶屋キャンプ場担当)、鳥取市資産活用推進課(官民連携推進担当)
調査方針	次の4点を調査方針に掲げ、鳥取砂丘西側エリアでの滞在型観光施設として相応しい魅力ある施設計画について、ご意見を伺いました。 (1) 国立公園利用拠点計画や鳥取砂丘未来会議からの提言に基づく導入可能な機能について (2) サイクリングターミナルと柳茶屋キャンプ場を活用した新たな可能性について (3) こどもの国キャンプ場との一体的な管理・運営について (4) 独立採算での事業運営を前提に、可能かどうかについて

2 ご意見等

(1)対象施設の利活用の可能性	
サイクリングターミナル	<p>利活用方法</p> <p>①宿泊研修施設 ②ワーケーション施設 ③グランピングやキャンプの管理・受付施設 ④宇宙開発や環境共生及び再生に関する研究・学習・体験拠点施設 など</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が老朽化し、改修に多額の費用負担を伴う。 ・行政である程度改修してから引き渡してもらう方がよい。 ・現状のような教育的な活用だけでは維持が難しい。
柳茶屋キャンプ場	<p>利活用方法</p> <p>①グランピング施設 ②オートキャンプ場 ③フリーキャンプ場(有料) ④スポーツパーク ⑤アスレチック など</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道からのアクセスも良く、幅広い活用が可能。 ・ゴミ処理などの経費を賄うためには有料化が必要。 ・未利用地の利活用には、国県市の連携や規制緩和が必要。
こどもの国キャンプ場	<p>利活用方法</p> <p>①グランピング施設 ②オートキャンプ場 など</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台にあり眺望が優れている。既存のログハウスや設備も活用できる。 ・進入路がわかりにくくアクセス改善が必要。 ・こどもの国本体との区分にフェンスなどが必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・3施設を一体的に運営するには、進入路の改修など、施設連携部分の整備が必要。 ・3施設を一体的に運営するには、サイクリングターミナルで集中管理を行うのがよい。 ・3施設一体では規模が大きくなるため、分割での整備・運営も検討が必要。 	
(2)施設整備・運営手法・運営期間など	
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備は、行政から施設を借受け自社で整備する方法と行政が施設整備を行った後に借受ける方法が考えられる。 ・インフラに関する部分は行政で、収益施設に関する部分は民間で役割分担すれば整備がしやすい。 ・キャンプ場の整備には契約から開業まで最低3～6カ月間必要。
運営手法	<ul style="list-style-type: none"> ・行政から施設(普通財産)を借受けて運営する方法と、指定管理施設(行政財産)として運営する方法が考えられる。
運営期間など	<ul style="list-style-type: none"> ・民間が投資するなら10年以上(概ね10年～20年)は必要。 ・指定管理だと条例による制約はあるが、ある程度自由で長期の運営期間があると参入しやすい。

(3)利活用の可能性を高めるための重要な視点や課題、資金計画など	
重要な視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人々の利用率を高める必要がある。 ・県東部の大きな観光コンテンツなので、この事業にはいろいろな方が関わるべき。 ・区画貸しが可能となれば、砂丘での事業にチャレンジしたい事業者はたくさんいると思う。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通した営業(特に冬場)が難しい。 ・施設から砂丘が眺望できないので、砂丘との一体感が湧かない。 ・柳茶屋キャンプ場の未利用部分の開発には、行政が連携した規制緩和が必要。 ・雨天時は屋外でのアクティビティが実施できないので、屋内施設として楽しめる場づくりが必要。 ・無料キャンプ場は、全国的にゴミやマナーの悪化で閉鎖された例もあるが、有料であればそういったことは起きにくい。
資金計画など	<p>①自己資金 ②増資 ③借入 ④クラウドファンディング など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディング等で地元の人から出資を募り関心を高めることも検討すべき。 ・施設規模が大きくなるため、段階的な整備の検討が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・グランピング事業はコロナ禍にあつてある意味追い風の状況である。 ・砂丘はエリアが広く、コロナ対策でのソーシャルディスタンスが取りやすい。 ・キャンプニーズは近年、オフシーズンの需要も高まり、シーズン差が少なくなっている。 	
(4)周辺施設との連携の可能性	
リゾートホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾートホテルと協議の上、食材等をキャンプ利用者へ提供するなどの提携が考えられる。 ・リゾートホテル客のアクティビティ利用や、イベント時の相互利用が考えられる。
ビジターセンター西側施設(仮称)・休憩舎	<ul style="list-style-type: none"> ・砂丘西側で宿泊 → ビジターセンター西側施設で学習 → ガイド付きで散策といった学習としての利用価値が高まる。
砂丘東側施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り捨て型のレンタサイクルや循環バスの運行が整備されれば、砂丘東西で人の往来が促進される。
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設間のスムーズな移動手段が必要。 ・砂丘温泉ふれあい会館やオアシス広場との連携も必要と考える。 	
(5)子どもたちの宿泊・自然体験活動や地域学習などの場としての可能性	
サイクリングターミナル	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレージ(荷物預かり所・ロッカー)やリフレッシュ(シャワー設備・着替えスペース・トイレ等)などの機能があると活動拠点となりやすい。 ・現時点でも一定数ある宿泊や自然体験活動の利用者は、整備次第でもっと利用者が増やせると思う。

柳茶屋キャンプ場	①防災キャンプ ②火に親しむ取組 ③屋内での砂遊び など
こどもの国キャンプ場	
①ESD(持続可能な開発のための教育)拠点 ②多鯰ヶ池自然探勝路での自然体験プログラム など ・市民利用や学校利用を促進するため、料金設定で市民割引や学校割引は可能だが、割引部分については行政との協議が必要。	
(6)滞在型観光施設としての新たな可能性	
新たな可能性	①新たなアクティビティや観光施設の誘致 ②地元の食文化の発展の拠点(市場、高級レストラン) ③宇宙に関する体験や学習の拠点 など ・3施設を一体運営することで年中無休化と夜間管理が可能と考える。 ・宿泊することで、砂丘での星空観察などができれば、一日中楽しめる鳥取砂丘がアピールできる。
・コロナ終息後はタイニーハウス(小さくても心豊かな家)の需要が高まると予想される。 ・砂丘は日本トップクラスの非日常性を持っており、非日常性を活かした宿泊施設のニーズがある。	
(7)自然環境への配慮、地域貢献の考え方	
自然環境への配慮	①今ある資源を最大限に活かした整備計画 ②砂・土・木など天然素材を活用した施設設計 ③環境再生型の施設設計 ④砂丘西側でのエネルギーの自給自足 ⑤海岸漂着ゴミの回収と再利用プログラムの普及 ⑥SDGs をテーマにした体験プログラム ⑦キャンプ利用者へのマナー啓発 など
地域貢献	①地元雇用や地元調達による地域経済の貢献 ②地元の高校、大学等との連携による教育面での貢献 など
・収益面で柳茶屋キャンプ場の未利用地の利活用は必要と考える。 ・グランピングは自然が残されている方が利用者に喜ばれる。 ・環境問題を能動的な体験コンテンツとして観光・教育面で活用していきたい。 ・柳茶屋を復活させるプログラムがあってもよい。	
(8)行政支援等の要望	
行政支援	施設整備 ・インフラ部分の主たる整備を行政が引渡し前に行ってほしい。 ・ビジネスマッチングを実施してほしい。 運営面 ・小中学校の宿泊体験の場として、補助金などの行政支援が必要。 ・地元利用の促進や集客のための告知を行政で支援してほしい。
(9)その他	
募集期間	・プロポーザルに参加する場合、募集開始から提案書提出まで2～3カ月の準備期間がほしい。

3 対話の結果を踏まえた活用案及び検討事項

(1)活用案

【主な活用案】 キャンプ・グランピング、青少年の宿泊、砂丘に関する学習、アウトドアアクティビティの拠点、サイクリングの拠点 など

【特長的なもの】 星空観察(宇宙体験)、自然環境保護(SDGs)活動、こどもの国等周辺施設との連携 など

(2)検討事項

【施設整備関係】 ①サイクリングターミナルの扱い ②両キャンプ場の一体利用を図るための整備 ③ビジターセンター西側施設(仮称)・休憩舎へのアクセス改善 ④境界整備、こどもの国キャンプ場への進入路整備 など

【ソフト事業関係】 ①民営化後の学校利用の扱い ②柳茶屋キャンプ場の無料キャンプ場としての扱い など

4 今後の事業の進め方

対話にご参加いただきました皆様には、貴重なご意見をご提供いただきありがとうございました。ご意見は今後の公募方針の検討に活用させていただきたく存じます。引き続き、本事業へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

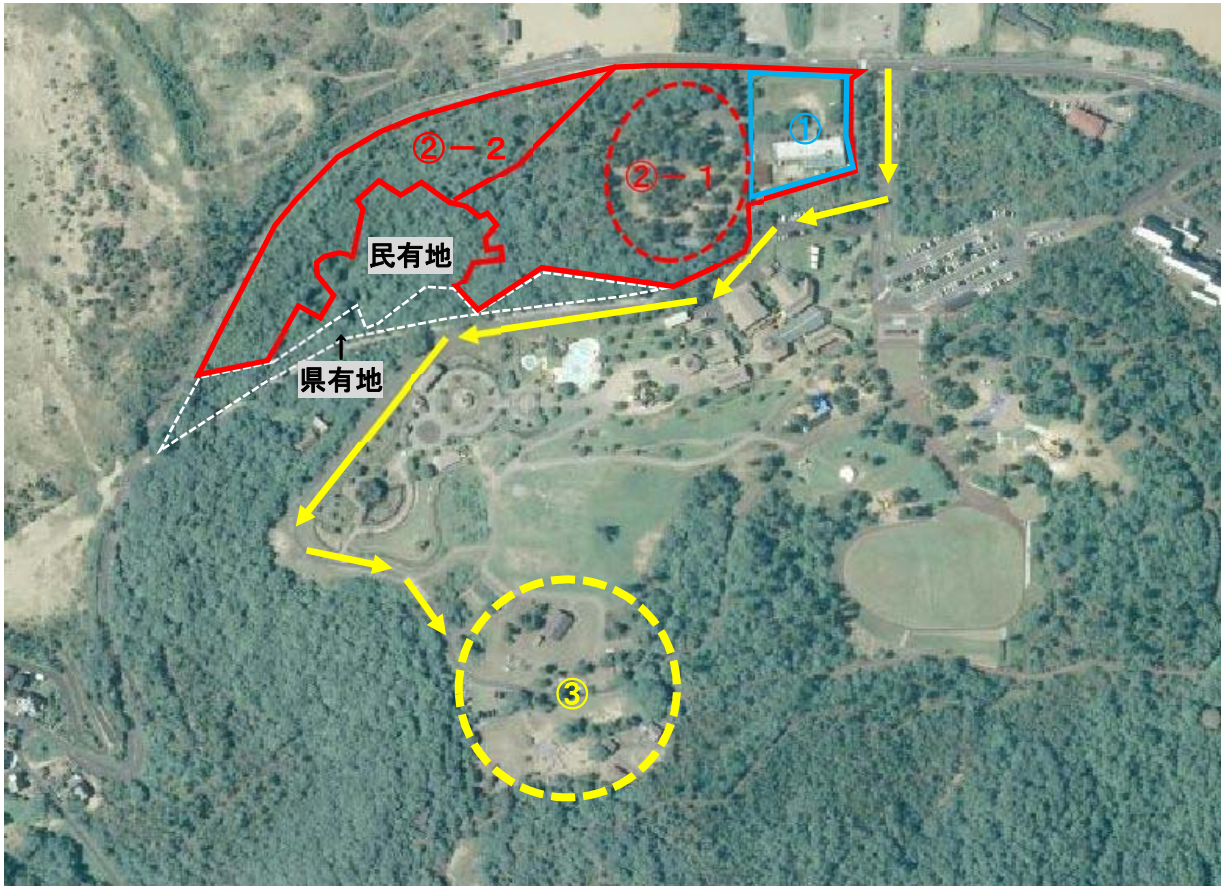
なお、今後のスケジュールの予定は次のとおりです。

今後のスケジュール(予定)

令和3年度中 公募型プロポーザルの実施

令和4年度中 事業着手

○サイクリングターミナル周辺施設位置図



- サイクリングターミナル
- 柳茶屋キャンプ場
- // (実際の利用範囲)
- こどものくにキャンプ場
- // 現在の進入路

質疑・意見交換（1）鳥取市小・中・義務教育学校における防災教育の状況について

鳥取市小・中・義務教育学校における 防災教育の状況について



学校教育課

小学校学習指導要領に示される 防災教育に関連した内容

教科	内 容	教科	内 容
社 会	3年 「地域の安全」	体 育 (保 健)	5年6年 「けがの防止・交通事故・身の回りの生活の危険」 「危険の予測や回避の方法」
	4年 「自然災害・今後想定される自然災害・地域の自然災害」		
	5年 「自然災害・対策や事業・国土の保全・防災対策」 「地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害」		
	6年 「自然災害からの復旧・復興」		
理 科	5年 「流れる水の働きと土地の変化」「天気の変化」 *「自然災害についても触れること」	特別の教科 道 徳	全学年 「安全」
	6年 「土地の作りと変化」 *「土地は、火山の噴火や地震によって変化すること」 *「自然災害についても触れること」		
生 活	1年2年 「通学路の様子やその安全・安全な登下校」 「安全に生活・安全に気を付けて」	特別活動 学級活動	全学年 「健康安全」「健康で安全な生活態度」「事件や事故、災害等から身を守り安全に行動」
家 庭	5年6年 「健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活」	特別活動 学校行事	全学年 「健康安全」 「事件や事故、災害等から身を守る安全な行動」

学習指導要領に示される 指導内容・指導方針

1. 教科横断的視点にたった指導
2. 災害について主体的に学び考える「アクティブ・ラーニング」的指導
3. 「地域」における人々の防災の取組みに対する理解を深める指導

指導(学習活動)例 その1

地域の自然災害の歴史やその予防の取組について、子どもたち自らが足を運び調べ、調べた結果をポスターにまとめ、他の友達をディスカッションする。



指導(学習活動)例 その2

地方自治体の防災に関わる職員や地域防災に携わる地域住民等の専門的な立場の人から、自然災害への取組の具体的な話を聞くことにより、「自助・共助・公助」の役割分担について理解を深める。



具体的実践例 ①

専門的立場の人から学ぶ

学校の防災教育への専門家派遣事業

(県教育委員会体育保健課事業)

◇ 各校の希望する学習内容をふまえ、県消防防災課、県治山砂防課、県河川課、鳥取地方气象台、県学校防災アドバイザーから講師を派遣し、防災に係る基礎知識等を学ぶ。

◇ 令和3年度は、**市内小学校16校**で実施予定。

美保南小学校 4年生

日時：令和2年9月10日（木）10時30分～11時15分

場所：美保南小学校

講師：鳥取県土整備事務所 計画調査課（大坪補佐、高橋技師）

内容：（1）鳥取県土整備事務所のお仕事の紹介
 （2）川の役割、最近の天気や災害について
 ～クイズ～
 （3）住んでいる地域にひそむ危険
 （4）安全な場所に逃げること



青谷小学校 4年生

日時：令和2年7月21日（火）10時30分～11時15分

場所：青谷小学校

講師：鳥取県土整備事務所 計画調査課（大坪補佐、稲田技師）

内容：（1）川や山の役割、気象と災害
 （2）住んでいる地域に潜む危険性
 （3）安全な場所へ逃げること



倉田小学校 3～6年生

■ 2021/06/30 ■ 防災教育出前授業（3・4年）

土石流は、50mを2秒で進む？！

鳥取県県土整備部河川課の方に来校していただき、土砂災害・洪水を中心にした、防災教育出前授業を行っていただきました。

土砂災害には、①がけ崩れ（斜面が一気に崩れる）②土石流（水と一緒に土や石が流れてくる）③地滑り（斜面が広い範囲で動く）の三つがあります。水は私たちにとって、なくてはならないとても大切なものです。けれども、大雨の時には絶対に川には近づいてはいけません。何に変えても、「命が一番大切なもの」「自分の命は自分で守る」「危険を感じたらすぐ逃げる」ということを映像を交えながら、しっかり学ぶことができました。

7月5日（月）には、再度、県土整備部河川課の方に来校していただき、5年生を対象にした防災教育出前授業を実施します。



防災教育活用関連サイトの例

The screenshot shows the Tottori Prefecture Web Site with a navigation menu and a list of disaster education resources. The page title is "鳥取県" (Tottori Prefecture). The navigation menu includes "テーマでさがす", "県の紹介", "新着情報", "ネットで手続", "県政情報", "組織と仕事", and "県外の方へ". The current location is "ホーム > 県の組織と仕事 > 教育委員会 > 体育保健課 > 鳥取型防災教育の手引き > 防災学習のための参考リンク・参考資料".

The main content area is titled "もどる |" and contains the following text:

- ・防災学習に役立つ参考リンクや参考資料を掲載しています。
- ・リンク先ホームページの著作権等については、リンク先の注意事項等をお読みの上ご確認ください。

The resources are categorized into two sections:

(1) 風水害に関する資料

- ▶ [防災の基礎知識（鳥取県HP）](#)
- ▶ [警報・注意報の種類（気象庁HP）](#)
- ▶ [風の強さと吹き方（気象庁HP）](#)
- ▶ [雨の強さと降り方（気象庁HP）](#)
- ▶ [見て学ぶ防災基礎知識（消防防災博物館HP）](#)
- ▶ [台風発生のメカニズム（気象庁HP）](#)

(2) 地震・津波に関する資料

- ▶ [防災の基礎知識（鳥取県HP）](#)
- ▶ [地震を知ろうー子ども向けパンフレットー（文部科学省HP）](#)
- ▶ [「地震・・・そのときに備えて」シリーズ（ビデオ）（消防庁HP）](#)
- ▶ [地震による家具の転倒を防ぐには（消防庁HP）](#)

具体的実践例 ②

専門的立場の人から学ぶ

地域の自主防災組織と連携した取り組み

- ◇ 地区総合防災訓練と学校避難訓練を同一開催することで、「自助・共助・公助」の役割分担について理解を深める。
- ◇ 自主防災会の方を講師に、防災教育講演会を開催し、防災意識の向上を図る。

『防災の日』の取組 若葉台小学校

■ 2020/09/01 ■ 9月1日は『防災の日』

今日9月1日は『防災の日』です。1923年9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した関東大震災に由来しています。

本校では、毎年この時期に、若葉台地区自主防災会長の山田義則さんから全国各地で発生した災害の様子やボランティア活動の様子を写した写真をお借りして、子ども達の防災意識の啓発に努めています。

今年はわかばホール前の廊下に「防災コーナー」を設置しました。子ども達は、教頭先生から出された「校内防災クイズ」に早速チャレンジしていました。

地震を想定した避難訓練は9月10日（木）に実施予定です。



具体的実践例 ③

地域全体での学校安全推進体制の構築

学校安全総合支援事業

(県教育委員会体育保健課事業)

◇ 事業目的

- ・児童生徒等の危険予測・危機回避能力に係る資質・能力の向上
- ・将来の地域防災の担い手となり得る人材の育成
- ・学校安全計画等の点検・見直し及び実践的な避難訓練の工夫・改善
- ・中核となる教員の資質・能力及び教職員の防災管理に係る資質・能力の向上

- ◇ 令和3年度は、**浜村小学校を拠点校とする気高地域**が、「災害安全」の領域で取り組みます。

地震津波の避難訓練

令和3年度津波を想定した避難訓練実施予定校

小学校・・・14校

中学校・・・ 3校

